学校番号	1205

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　公民科「倫理」（清水書院）						
副教材等	担当者作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会で公民として生きていくために、どのように考えふるまうべきかを考えます。
・自分の人生や、社会の在り方、現代の諸課題に対してどのように考え対応すべきか、先哲の考えを活用しながら自ら向き合う姿勢を求めます。
・授業はプリントで行いますが、板書を書き写すだけでなく、先生の話をメモしたり、自らの考えを表現したりする課題が出ます。
・学期ごとにグループワークや調べ学習などを行います。皆さんが積極的に倫理の知識を学習する姿勢も評価の対象です。
・授業で学習したことを覚えるだけでなく、得た知識を実生活に活用したり、社会問題を解決するための意見をクラスメイトと議論できるようになることが目標です。

2　学習の到達目標

a. 人間としての在り方生き方について,先達の見方・考え方や理論を理解する。
b. 現代の諸課題を追求したり解決に向けて構想したりする活動を行う。
c. 広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめることができる。	・自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方について、より深く思索することができる。 ・現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、理論的に思考し、説明したり対話したりすることができる。	・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。 ・多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名		学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　現代を生きる自己の課題	序章	人間とは何か	a: さまざまな人間観を理解している。 b: 人間の多様な在り方に思索を向けさせるとともに、人間存在への問いから現代の諸課題を探究することができる。 c:自ら、人間存在への問いに向かおうとしている。	原典資料や芸術作品などからの読み取り	原典資料や芸術作品などからの読み取り	授業中での発言やOPPシートの記入
		第1章　個性的な主体としての自己	1　心の機能と個性 2　パーソナリティの形成と「私」	a: 心のあり方を科学的に探究してきた心理学の知見を理解している。 b: 個性やパーソナリティに着目して、青年期の課題を踏まえ豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めることができる。 c:自ら、自己の生き方を見つめている。	典資料や実験や観察、統計的なデータなどからの読み取り 定期テスト	典資料や実験や観察、統計的なデータなどからの読み取り	授業中での発言やOPPシートの記入 探究タイムでの姿勢・記述
		第2章　心と行動をめぐる探究	1　人間の活動を支える心 2　認知のしくみ 3　生涯にわたる発達	a: 心のあり方を科学的に探究してきた心理学の知見を理解している。 b: 欲求や感情、認知、発達に着目して、青年期の課題を踏まえ豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めることができる。 c:自ら、自己の生き方を見つめている。	典資料や実験や観察、統計的なデータなどからの読み取り 定期テスト	典資料や実験や観察、統計的なデータなどからの読み取り	授業中での発言やOPPシートの記入

	第2編　人間としての自覚	第1章　哲学の始源：ギリシア思想	2　知と徳をめぐる問い―ソクラテス 3　理想主義的なあり方―プラトン 4　現実主義的なあり方―アリストテレス	a：プラトン、アリストテレス、ヘレニズムの思想を理解している。 b：良識ある公民とはいかに在るべきか、いかに生きるべきかという自己の課題について、多面的・多角的に考察することができる。	定期テスト	原典資料の読み取り	
2学期		第2章　唯一神の宗教：キリスト教・イスラーム教	第1節　愛の教え―キリスト教 1　ユダヤ教 2　イエスの思想 3　世界宗教への展開 第2節　戒律と平等の教え―イスラーム教	a：ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教の一神教が神と人間の関係をどのように捉えたか、相互の比較を通して理解している。 b:それぞれの理念を理解し、そのもとで人々の行動にどのような影響を与えるのかを考察することができる。	定期テスト	原典資料・芸術作品の読み取り	
		第3章　東洋思想の源流：仏教・儒教	第1節　智恵と慈悲の教え―仏教 1　バラモン教 2　仏陀の思想 第2節　仁と礼の教え―儒教 1　儒家の教え	a：仏教の人間観や人生観を理解している。 b：仏教の生命あるもの全てに対する慈悲の教えを通して、共同体の在り方や人間相互のつながりについて自己の課題と結び付けて考察することができる。 c:宗教が人々にどのような影響を与えたのかを自ら考えようとしている。	定期テスト	原典資料・芸術作品の読み取り	授業中での発言やOPPシートの記入 探究タイムでの姿勢・記述
	第3編　現代をかたちづくる倫理	第2章　世界と人間をめぐる探究	第1節　人間の尊厳 1　ルネサンスとヒューマニズム 2　宗教改革と人間の内面	a：人間の尊厳を論じたルネサンス、宗教改革、モラリストの思想を理解している。 b：人生への問いや人間の存在や価値について、自己の課題と結び付けて考察することができる。 c:自らの人生を振り返ろうとしている。	原典資料や芸術作品などからの読み取り	原典資料や芸術作品などからの読み取り	授業中での発言やOPPシートの記入

			第2節　真理の認識―経験論と合理論 1　近代科学の思考法 2　事実と経験の尊重―ベーコン 3　理性の光―デカルト	a：経験論と合理論を理解している。 b：経験論と合理論の違いを表現することができる。 c：経験論と合理論がどのように社会に影響を与えたのかを考察しようとしている。	定期テスト	定期テスト	授業中での発言やOPPシートの記入
			第3節　民主社会と倫理 1　社会契約説と啓蒙思想 2　人格の尊厳と自由―カント 3　自己実現と自由―ヘーゲル	a：民主社会と人間の在り方や人間の尊厳、自己実現と幸福を論じた近代の諸思想について理解している。 b：社会の在り方と人間としての在り方生き方について考察することができる。	定期テスト	原典資料や芸術作品などからの読み取り	
			第5節　近代の世界観・人間観の問いなおし 1　理性主義への反省 2　言語論的転回 3　科学観の転換	a：近代の世界観や人間観を問い直す知見を備えた現代の諸思想について理解している。 b：真理、存在に着目し、世界と人間の在り方について考察することができる。	定期テスト	原典資料や芸術作品などからの読み取り	
3学期	第4編　国際社会に生きる日本人としての自覚	第1章　日本の風土と精神文化	第1節　日本人の人間観・自然観・宗教観 1　風土と日本人の生活 2　日本における神の観念 3　神と仏の出会い	a：日本人の人間観、自然観、宗教観の特質や日本人の心情や考え方と風土との関わり、また日本的な美意識や自然との関わりについて理解している。 b：日本人の人間観、自然観、宗教観の特質や日本人の心情や考え方と風土との関わり、また日本的な美意識や自然との関わりを説明することができる。 c：現代日本への影響を考えようとしている。	定期テスト	原典資料や芸術作品などからの読み取り 定期テスト	授業中での発言やOPPシートの記入 探究タイムでの姿勢・記述

		第2章　日本の近代化と人々の生き方	第3節　主体的な生き方と価値観の模索 1　近代日本の哲学者 2　近代日本の思想傾向への反省 3　現代日本と私たちの課題	a:近代日本の哲学者の思想を理解している。 b:近代日本の思想が日本にどのような影響を与えたのかを考察することができる。 c:現代日本での課題について倫理での学びを踏まえ、公民として向き合おうとしている。	定期テスト	定期テスト	授業中での発言やOPPシートの記入 探究タイムでの姿勢・記述
	第5編　現代における諸課題の探究	第2章　社会や文化にかかわる諸課題	2　国際平和と人類の福祉	b:　先哲を含む他者との対話を通して、福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見いだし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述することができる。		定期テスト	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度